

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 7 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26370357

研究課題名(和文) ステファヌ・マラルメの「書物」と19世紀末フランス・ベルギーにおける出版界

研究課題名(英文) The "Book" of Stephane Mallarme, and publishing world in France and Belgium at the end of the 19th century

研究代表者

中畑 寛之 (Hiroyuki, NAKAHATA)

神戸大学・人文学研究科・准教授

研究者番号：70362754

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,500,000円

研究成果の概要(和文)：ステファヌ・マラルメが出版した約20冊の本に関する書誌を作成し、関西マラルメ研究会アルシーヴ Mall'archives で公開した。また、献本先等の詳細な情報については現在も収集を継続しており、拙著『ステファヌ・マラルメの書斎』とともに、この詩人を中心に形成されていた文芸ネットワークの実態を著書の相互贈与という具体的なやり取りから再考するための基礎資料となっている。

19世紀末フランスとベルギーの出版界を概観したうえで、詩集の刊行が難しいなか、その思考の中心に「書物」という概念を据えるマラルメが実際にいかなる目論見を持って作品を刊行しようとしている(公にした)のかを本造りの現場から考察した。

研究成果の概要(英文)： I wrote a bibliography on about 20 books published by Stephane Mallarme, and then I made public the simplified data in "Mall'archives", digital archive of the Society of the Mallarmean studies of the Kansai (http://www.geocities.jp/mal_archives/). But not yet completed. I always keep gathering detailed information such as numbered copies, dedicates, sign, or status of book, to complete it. This bibliography and my last work of << Stephane Mallarme's Library >>, I hope that they will become a fundamental research to reconsider a literary community that was formed around this poet.

After studying the French and Belgian edition at the end of the 19th century, I observed every place of editorial work to deal with how, in adversity for Modern Poetry, Mallarme intended to publish (made public) his works.

研究分野：人文学

キーワード：ステファヌ・マラルメ 出版 publication 書誌 文芸共同体 フランス データベース

1. 研究開始当初の背景

2011-2013年度に実施した「ステファヌ・マラルメ文庫の総合的調査による19世紀末<文学場>の書誌学的研究」(課題番号23520383)は、当時の社会・政治状況がこの詩人に促した自己批判、いわば「<文芸>のようなものが存在するのか」と問わざるを得なくなった時代に生きる文学者としての態度について将来的に解明するために必要不可欠な基盤作りであった。名高い火曜会を含め、ローマ街の師が現実に創りあげていた多彩な人的ネットワークの実体を把握するために、書誌学的な知見を活用することを提案し、ヴァルヴァンの県立マラルメ記念館が保管している蔵書(約1200冊)をすべて、一枚一枚ページを繰って詳細に調査した。これにより書物を基盤とした「精神の握手」による文芸共同体のあり方を再検討するだけでなく、国籍も年代も職業もさまざまな人間たちが集い、ある者は留まり、ある者は去っていった火曜会に代表される<文学場>についても新たな視点から論じることを可能とする基礎資料を用意することができた。

ところで、マラルメの側からも当然ながら同じ「握手」が差し出されていた。では、彼は誰に自著を送ったのか? この双方向的でもある行為は詩人と名宛人の交友を示すだけのものに留まらないだろう。新聞雑誌等の書評担当者に送られる場合、当時の出版業界においてどのメディアのどの人物が力を持っていたかを、また新刊案内の活用など詩人によるさまざまな出版戦略をも明かしてくれるのではないか。献本先の時代による変化は、書簡のやり取りだけからは見え難い、マラルメ自身の親密な、むしろ内的な友人関係が浮かびあがってくるかもしれない。それはまた、古くから維持されてきた友情、あるいは逆に新たに生成し、時に解消する関係も含め、詩人が夢想する「文芸共和国」の中核がどのような芸術家に担われ、そして社会的・政治的にいかなる人物の庇護を必要としていたのか、実際の交友関係や人的なネットワークを基にしたマラルメの思想展開を実証的に捉えることを可能にするにちがいない。

さらには、火曜界にも参加している顔の見える読者と大衆という顔の見えない匿名の読者との複雑な二重性もまた、我々が探求すべきマラルメの書物の問題の重要なファクターを構成するものである。

『ステファヌ・マラルメの書斎』に今度は、ローマ街もしくはヴァルヴァンから送られる本(詩人が差し出す精神の握手)、つまり自著を送る(贈る)という友情の証であり、かつ彼にとっては文学的な営為に属する行為の具体的な情報を付け加えることで、マラルメを中心としてではあるが、相互補完的に、しかも19世紀末に形成されていた世界的な広がりをも有するひとつの<文学場>の動態を包括的に観察できる視座を提供できるのではないかと考えている。

2. 研究の目的

本研究は、マラルメが著作を送(贈)った宛先とその行為を介して構築・更新されていく人的ネットワークの存在を具体的に例証し、『ステファヌ・マラルメの書斎』を今度は詩人の側から補完するとともに、「書物」という物体に独自の意味を見出していたマラルメという詩人が「出版する *publier*」際の実務、つまり出版人の発見、交渉、雛形の作成、校正等を詳しく検討することで、そしてまた実際に出来上がった本のあり方を確認することで、19世紀後半のフランス・ベルギーにおける出版界の実態との関係から詩人の「書物」思想の一端をきわめて具体的な側面から明らかにすることを目的にする。著作書誌の整備を進めながら、マラルメの蔵書データを併用することで、文学者たちの交流、彼らのあいだの人間関係を、不可視な内的関係によってではなく、著書の贈呈という可視的な相互関係によって捉え直し、考察を深めることが可能となろう。

かくして、我々が作成することになる2つの重要な基礎資料は研究者にマラルメを中心に形成された文芸ネットワークを「出版」という視点から(つまり作品を公にする *rendre public* 行為であり、それは必然的に読者公衆 *public* の問いを含むことになる)問い直す機会を与えるはずである。相手にどのような本を送るのか、どのような献辞を記すのか等々、彼らが文壇において築いていた関係をより深く理解することができるだろう。書簡や回想にこうした相互的な著作の贈呈や出版戦略としての献本という別の視点が加わることで、火曜会のイメージもより現実に近づくことが期待され、さらにはローマ街やヴァルヴァンの部屋から書簡や著作を友人・知人たちに送ることで世界的な友情のネットワークを創り維持し続ける努力を惜しまなかったマラルメの真意も明らかになることが期待される。

3. 研究の方法

寡作のイメージの強いマラルメだが、実はその生涯において詩集・散文集・翻訳・教科書など決して少なくない数の書物を出版している。また、『現代パルナス詩集』を始め幾つかの共同詩集にも参加した。まずはそれら刊本の書誌学的な資料を作成し、それぞれについて『書簡集』と『資料集』、そして古書店カタログなどを活用し、著作を献呈した名宛人や購入者の名前、献辞等の情報を確認できる範囲で詳細にデータベース化していく。これを用いて、マラルメと同時代人たちの関係を著書のやり取りという視座から再考していく。人的交友については時間的な推移を考慮すべき課題であり、1885年以降にはマラルメの文壇的立場が知名度という意味ではまさしく劇的な転換が起こることを考慮し、基本的にはクロノロジックに作業を行うことにする。

また、詩人自身が専門の会社（Argus de la Presse）に依頼して収集させた新聞・雑誌の切抜きがマラルメ記念館に保存されている。フランスだけでなく、他国の記事も含む未だ整理されてない資料体だが、これも効率的に活用して、詩人の出版行為に対する即時的な反応をも広く世界的パースペクティブにおいて明らかにし、メディアを通して姿を現してくる大衆とマラルメとの関係を考察する一助としたい。

本研究の主眼は詩人と出版人との関係、および造本から見てくるマラルメの出版戦略を明らかにすることにある。出版元を探し、彼らと交渉し、活字や紙を選ぶなどの過程でさまざまな要求を出す詩人の本作りの現場に密着し、マラルメの「書物」における物質的側面に注目して、考察を進める。彼の手がけた豪華本を趣味や好みの枠に押し込めず、詩人による戦略としての文学的営為のひとつとして位置づけ、逆に、発行部数も多く、広範な読者を念頭に刊行される普及版との関係性についても論じる必要がある。

マラルメがフランスやベルギーの出版人と交わした書簡や関連資料を精読し、本を造ること、作品を公にすることについて詩人の問題意識を明らかにすると同時に、その要求の高さから顕わになる当時の出版界の現実についても検討を加えるつもりである。

4. 研究成果

実際に手に取ることがなかなか難しい貴重な刊本についても現物にあたって作成したマラルメの著作に関する書誌データについては関西マラルメ研究会 HP：Mall'archivesにて簡略版を公開することができた。個々の刊本の贈呈先や献辞などを含む詳しい情報については、すべて調べ終わったなどとはとても言えないが、可能な限り収集に努めてきたので、整理ができ次第、追加公開したい。また、この研究期間中には、幸いなことに、マラルメの蔵書についても新たな情報を得る幸運に恵まれ、こちらの書誌情報は約1800冊に達することになった。『ステファヌ・マラルメの書斎』は増補新版をフランスで出すべく準備中である。

ある作家とその著作の出版というテーマはしばしば書物史という歴史学的な、もしくは社会学的な領域で扱われるテーマのひとつである。馴染みのある話題であれば、たとえばバルザック、デュマ、シューといった19世紀前半の小説家たちと出版事業、また読書クラブ、新聞小説や挿絵本といった流通と消費に焦点を当てながら豊かな成果を挙げている。けれども、19世紀後半の出版界における詩人たちに関しては、メディア戦記である『幻滅』のような物語性、あるいは驚異的な刊行部数（いわゆるベストセラーという事件性）や売上げといった数字的な派手さがない、つまり二重の意味で intérêt が見出せないからなのか、ほとんど手付かずのままであった。

本研究において、フランスとベルギーにおける出版および詩集刊行の状況、そして19世紀後半の読者層についても最新の知見を得ることができ、その背景のうちにステファヌ・マラルメの戦略と出版人とのやり取りを置き直すことで、テキストの読解とはやや異なった角度からこの詩人の文学的営為についてじっくり考察することができた。

以上を基に5件の発表を行った。特に発表では、実際に刊行された本とマラルメのテキストで示される本のあり方とを対照し、出版を巡る詩人の戦略を包括的に提示しようと試みた。また発表では、当時の出版界の現状を踏まえつつ、マラルメの本を出した出版人との具体的なやり取りを詳らかにしながら、詩人の「書物」観を論じた。これらの発表を踏まえ、論文を1本執筆し、レオン・ヴァニエとの問題だけを取り出し、新しい資料も用いて、これまで少なからず混乱もあった両者の関係を整理しつつ、マラルメが本作りにおいて目指すところを明らかにした。あいかわらず調査や情報整理に追われて論文が書けてないが、他の出版人たちとの著作刊行の舞台裏についてはこれから纏めていく予定である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 1件）

中畑寛之、レオン・ヴァニエとマラルメ、EBOOK、査読無、第29号、2017、1-22

〔学会発表〕（計 5件）

中畑寛之、散逸、あるいは新たに散らばった星座 ステファヌ・マラルメ関連資料の売立てを巡って、第22回関西マラルメ研究会、大阪大学、2016年3月18日

中畑寛之、ステファヌ・マラルメにおける出版 = 発表の理論と実践、日本フランス語フランス文学会秋季大会、京都大学、2015年10月31日

中畑寛之、ステファヌ・マラルメと彼の出版人たち、第21回関西マラルメ研究会、京都大学、2015年9月23日

中畑寛之、シュルレアリストたちの『骰子投げ』、第2回関西シュルレアリスム研究会、神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ、2015年3月29日

中畑寛之、バルザックを読むマラルメ、第19回関西マラルメ研究会、神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ、2014年9月15日

〔図書〕（計 1件）

野呂康、中畑寛之、嶋中博章、杉浦順子、

辻川慶子、森本淳生ほか、吉田書店、GRIHL
文学の使い方をめぐる日仏の対話、2017、
366 + 22 [253-257, 311-325, 363-366]

〔産業財産権〕

出願状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等
http://www.geocities.jp/mal_archives/

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中畑 寛之 (NAKAHATA, Hiroyuki)
神戸大学・大学院人文学研究科・准教授
研究者番号：70362754

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()